

同志社法学

総目次

第五二卷

自第二七
一七六号

サイバーポルノの刑事規制 (二・完)……………	川崎友巳…五二	一	(二七二)	一	(二七二)
——イギリス刑事法との比較法的考察——					
中国の法人処罰論に関する研究 (一)……………	黎 宏…五二	一	(二七二)	三七	(二七二)
——米国法・日本法との比較に即して——					
Die Abtreibung in Japan in rechtsvergleichender Perspektive …Kenji Ueda…五二		一	(二七二)	一	(三二〇)
カレ・ド・マルベールと法実証主義……………	山本浩三…五二	二	(二七二)	一	(三二一)
精神障害者の人権……………	大谷 實…五二	二	(二七二)	三八	(三四八)
——精神医療審査会を中心として——					
横井時雄の立憲政治論……………	西田 毅…五二	二	(二七二)	五八	(三六八)
——Contemporary Review (1898) 掲載論文を中心に——					
仲裁判断の効力をめぐる争いについて……………	上北武男…五二	二	(二七二)	一〇六	(四一六)
——仲裁契約の有効性をめぐる争いを視野に入れて——					
労働委員会による労働争議の調整……………	安枝英紳…五二	二	(二七二)	一三六	(四四六)
定期間居住要件と憲法審査基準に関する一考察……………	釜田泰介…五二	二	(二七二)	一七二	(四八二)
——アメリカ最高裁三〇年(一九六九)一九九九の論争の意味するもの——					

刑事政策における被害者の視点……………	瀬川 晃……………	二(二七二)	二二一(五二二)
——史的素描と今後の課題——			
カジノ賭博広告の規制と営利的言論法理……………	太田裕之……………	二(二七二)	二四八(五五八)
議院自律権と行政裁判所の不介入……………	勝山教子……………	二(二七二)	二八八(五九八)
——議院事務局職員の身分および議院・第三者間の契約に関するフランスの訴訟をめぐって——			
ドイツにおける議院内閣制と政権の安定……………	渡辺暁彦……………	二(二七二)	三三八(六四八)
——基本法六七条のいわゆる「建設的不信任投票」制度に関する一考察——			
二票制のもとの政策評価投票……………	西澤由隆……………	三(二七三)	一(七二九)
——一九九六年衆議院総選挙と投票モデル——			
三宅雪嶺における「個」と「公共性」の問題……………	長妻三佐雄……………	三(二七三)	二六(七五四)
——日露戦争後の時論を中心に——			
中国の法人処罰論に関する研究(二)……………	黎 宏……………	三(二七三)	七九(八〇七)
——米国法・日本法との比較に即して——			
アメリカ州情報公開法における電子メディア時代への対応……………	佐伯彰洋……………	四(二七四)	一(九九九)
朝鮮戦争の起源についての一考察(一)……………	西尾 昭……………	四(二七四)	四九(一〇四七)
	張 君……………		
アルチュール・ド・ゴビノーの人種哲学(二)……………	長谷川一年……………	四(二七四)	一〇九(一一〇七)
——「人種不平等論」を中心に——			

首脳会議の制度化と連合的リーダーシップ

(Coalition Leadership) ……富川 尚…五二 四(二七四) 一六九(二一六七)

——欧州理事会 (European Council) における場合と主要国首脳会議 (G8 Summit) における場合を中心に——

中国の法人処罰論に関する研究 (三) ……黎 宏…五二 四(二七四) 二四〇(二二三八)

——米国法・日本法との比較に即して——

イギリス下院における省庁別特別委員会制度の再検討 ……梅津 實…五二 五(二七五) 一(二五四九)

キース・オルターマン

学校における子どもの表現の自由 (一) ……井上徹也…五二 五(二七五) 三一(二五七九)

——アメリカ合衆国最高裁判所の判例をめぐって——

朝鮮戦争の起源についての一考察 (二・完) ……西尾 昭…五二 五(二七五) 一〇八(二六五六)

張君

アルチュール・ド・ゴビノーの人種哲学 (二・完) ……長谷川一年…五二 五(二七五) 一三六(二六八四)

——『人種不平等論』を中心に——

R・E・バーネットの自然権論と憲法論 ……深田三徳…五二 六(二七六) 一(二九三七)

——第六回神戸レクチャーを聴いての覚書——

オーストリア株式公開買付法について ……早川 勝…五二 六(二七六) 二二(二九五八)

ワイマール期法学教育改革と法史学 ……岩野英夫…五二 六(二七六) 八二(二〇一八)

——栗生武夫の体験を追体験する——

価値多元論とリベラリズムの整合性……………濱 真一郎…五二 六(二七六) 一四九(二〇八五)

——アイザイア・バーリンの議論を素材として——

デイドロの憲法思想……………畑 安次…五一 六(二七六) 二二二(二二五八)

大正期の或る青年法曹の足跡……………稲福日出夫…五一 六(二七六) 二五二(二二八八)

——佐喜眞興英と穂積陳重の接点——

心停止後の腎移植と臓器移植法……………青野 透…五一 六(二七六) 三〇七(二三四三)

国際援助と国境……………竹村和也…五一 六(二七六) 三四三(二二七九)

——民族と国境の道徳的意味——

刑罰から損害賠償へ……………橋本祐子…五一 六(二七六) 三七〇(二三〇六)

——R・バーネットの「純粹損害賠償」論——

研究ノート

エドワード・ヒースにおける「理念」と「現実」……………八木橋慶一…五一 一(二七二) 一七〇(一七〇)

——イギリス一九七〇年代初頭の政治過程——

物のパブリシティ権……………新井みゆき…五一 三(二七三) 一四八(八七六)

ベンサムにおける法社会学的考察……………戒能通弘…五一 四(二七四) 二九九(二二九七)

——「立法における時と所の影響について」より——

エルンスト・カッシーラーと「啓蒙」の行方(一)……………馬原潤二…五二 四(二七四)三五八(一三五六)
——「シンボル形式」の哲学から「シンボル形式」の政治へ——

歴史的制度主義によるEU分析の特徴と諸問題……………山本 直…五二 四(二七四)四一七(二四一五)

——加盟国政府の自律性をめぐって——

中間法人(仮称)制度の創設に関する要綱中間試案に対する

法務省民事局参事官室への意見……………同志社大学大学院法学研究科民法研究会…五二 六(二七五)一七〇(二七一八)

代表 佐藤義彦

エルンスト・カッシーラーと「啓蒙」の行方(二・完)……………馬原潤二…五二 五(二七五)一九六(二七四四)

——「シンボル形式」の哲学から「シンボル形式」の政治へ——

翻 訳

アルトウール・カウフマン

『法哲学 第二版』日本語訳(第6回)……………上田健二(訳)…五二 一(二七一)二四九(二四九)

ドイツの欧州事業所委員会法……………早川 勝…五二 三(二七三)二〇一(九二九)

アルトウール・カウフマン

『法哲学 第二版』日本語訳(第7回)……………上田健二(訳)…五二 三(二七三)一三〇(九五八)

ドイツ事業所組織法(一)……………早川 勝…五二 四(二七四)四七六(二四七四)

アルトウール・カウフマン

『法哲学 第二版』日本語訳 (第8回)……………上田健二(訳)……………五二四(二五二二)

ドイツ事業所組織法(二・完)……………早川 勝……………五二五(二七五)三〇〇(二八四八)

アルトウール・カウフマン

『法哲学 第二版』日本語訳 (第9回)……………上田健二(訳)……………五二五(二七五)三四〇(二八八八)

判例研究

目的犯における共犯と身分……………十河太朗……………五一(二七二)二三一(二三三)

都職員の行為への抵抗に関する業務妨害罪の成否……………十河太朗……………五二(二七五)二八一(二八二九)

シンポジウム

21世紀に期待される法曹・法律専門職の資質……………橋元四郎平・立石信雄……………五一(二七二)一二六(一二六)

矢口洪一・深田三徳……………五一

講演会

民法九四条二項の類推適用と不動産登記の公信力……………奥田昌道……………五二(二七五)三六〇(二九〇八)

その他

藤馬龍太郎名誉教授略年譜および主要著作目録……………	五二	二(二七二) 四〇七(七一七)
清水征樹教授略年譜および主要著作目録……………	五二	六(二七六) 三九三(三三二九)